

令和6年度児童生徒の問題行動・不登校等（鹿児島県公立学校）の状況について

令和7年10月28日
高校教育課学校教育生徒指導班

学 校 数：小学校 478 校，中学校 212 校，高等学校 71 校，特別支援学校 15 校 計 776 校

児童生徒数：小学校 83,640 人，中学校 43,208 人

高等学校 28,789 人（全日制 26,532 人 定時制 130 人 通信制 2,127 人）

特別支援学校 2,774 人 計 158,411 人（R6.5.1 現在 学校基本調査）

※ 義務教育学校は小学校，中学校にそれぞれ 1 校として計上

※ 高等学校は全日制，定時制，通信制をそれぞれ 1 校として計上

* 文部科学省が実施した「令和6年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」を基に県で作成。

1 いじめの状況

<いじめの認知件数>

(単位：件)

校種 年度	鹿児島県（公立）				全国（国公私立）			
	R 3	R 4	R 5	R 6	前年比較	R 5	R 6	前年比較
小学校	7,379 (83.9)	7,531 (86.5)	7,515 (87.8)	7,902 (94.5)	+387	588,930 (96.5)	610,612 (101.9)	+21,682
中学校	2,499 (57.8)	2,932 (67.6)	2,840 (65.4)	3,267 (75.6)	+427	122,703 (38.1)	135,865 (42.6)	+13,162
高等学校	350 (11.9)	310 (10.7)	299 (10.5)	302 (10.5)	+3	17,611 (5.5)	18,891 (5.9)	+1,280
特別支援学校	24 (9.6)	47 (18.1)	12 (4.5)	15 (5.4)	+3	3,324 (22.3)	3,654 (23.8)	+330
合 計	10,252 (62.9)	10,820 (66.9)	10,666 (66.6)	11,486 (72.5)	+820	732,568 (57.9)	769,022 (61.3)	+36,454

※ () は 1,000 人当たりの認知件数（認知件数 ÷ 在籍児童生徒数 × 1,000）

※ 全国（公立）における 1,000 人当たりの認知件数は公表なし

- 1,000 人当たりのいじめの認知件数は 72.5 件（前年度比 5.9 件増）であり、全国（国公私立）では 61.3 件（前年度比 3.4 件増）である。
- いじめを認知した学校（いじめの認知件数が 1 件以上の学校）は 83.1%（前年度比 3.5 ポイント増）であり、全国（公立）では 86.8%（前年度比 0.2 ポイント増）である。
- いじめの解消率は 73.0%（前年度比 2.8 ポイント減）であり、全国（公立）では 76.0%（前年度比 1.4 ポイント減）である。
- いじめの発見のきっかけは、前年度同様「アンケート調査など学校の取組により発見した。」が最も多く 48.9%，次に「本人からの訴え」20.6%，「当該児童生徒（本人）の保護者からの訴え」11.1%の順となっている。
- いじめの態様は、前年度同様「冷やかしやからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる。」が最も多く 64.3%，次に「軽くぶつかられたり、遊ぶふりをしてたたかれたり、蹴られたりする。」23.2%，「仲間はずれ、集団による無視をされる。」11.8%の順となっている。なお、「パソコンや携帯電話等で、ひぼう・中傷や嫌なことをされる。」については 2.7%（増減なし）であり、全国（公立）では 3.5%（前年度比 0.2 ポイント増）である。
- いじめの重大事態発生件数は 14 件（1,000 人当たり 0.09 件）であり、前年度より 4 件増加している。

2 不登校の状況

<不登校児童生徒数>

(単位：人)

校種 年度	鹿児島県（公立）				全国（公立）			
	R 3	R 4	R 5	R 6	前年比較	R 5	R 6	前年比較
小学校	833 (9.5)	1,240 (14.2)	1,610 (18.8)	1,756 (21.0)	+146	129,410 (21.6)	136,645 (23.3)	+7,235
中学校	2,153 (49.8)	2,503 (57.7)	2,960 (68.2)	3,158 (73.1)	+198	207,013 (70.4)	207,540 (71.5)	+527
高等学校	702 (25.3)	764 (28.2)	862 (32.4)	762 (28.6)	-100	50,075 (26.3)	50,231 (26.4)	+156
合 計	3,688 (23.2)	4,507 (28.6)	5,432 (34.9)	5,676 (37.0)	+244	386,498 (35.7)	394,416 (36.9)	+7,918

※ 高等学校は通信制を除く

- ※ () は 1,000 人当たりの不登校児童生徒数 (不登校児童生徒数 ÷ 在籍児童生徒数 × 1,000)
- 1,000 人当たりの不登校児童生徒数は 37.0 人 (前年度比 2.1 人増) であり, 全国では 36.9 人 (前年度比 1.2 人増) である。
 - 不登校の主たる理由は校種別に見ると, 以下のとおり。

〈小学校〉	・「生活リズムの不調に関する相談があった。」 36.2%
	・「学校生活に対してやる気が出ない等の相談があった。」 35.0%
	・「不安・抑うつの相談があった。」 27.0%
〈中学校〉	・「学校生活に対してやる気が出ない等の相談があった。」 31.5%
	・「不安・抑うつの相談があった。」 24.6%
	・「生活リズムの不調に関する相談があった。」 21.3%
〈高等学校〉	・「生活リズムの不調に関する相談があった。」 26.1%
	・「不安・抑うつの相談があった。」 25.5%
	・「学校生活に対してやる気が出ない等の相談があった。」 25.2%

3 暴力行為の状況

<暴力行為発生件数>

(単位: 件)

校種	年度	鹿児島県 (公立)					全国 (公立)		
		R 3	R 4	R 5	R 6	前年比較	R 5	R 6	前年比較
小学校		66 (0.8)	55 (0.6)	175 (2.0)	294 (3.5)	+119	68,143 (11.4)	81,209 (13.8)	+13,066
中学校		100 (2.3)	106 (2.4)	145 (3.3)	346 (8.0)	+201	32,161 (10.9)	38,232 (13.2)	+6,071
高等学校		42 (1.4)	32 (1.1)	72 (2.5)	62 (2.2)	-10	3,815 (1.9)	4,062 (2.1)	+247
合 計		208 (1.3)	193 (1.2)	392 (2.5)	702 (4.5)	+310	104,119 (9.6)	123,503 (11.5)	+19,384

※ 暴力行為とは、「対教師暴力」, 「生徒間暴力」, 「対人暴力」, 「器物損壊」を合わせた件数

※ () は 1,000 人当たりの発生件数 (発生件数 ÷ 在籍児童生徒数 × 1,000)

- 1,000 人当たりの暴力行為発生件数は 4.5 件 (前年度比 2.0 件増) であり, 全国では 11.5 件 (前年度比 1.9 件増) である。

- 暴力行為を形態別に見ると, 対教師暴力が 51 件 (前年度比 2 件増), 生徒間暴力が 497 件 (前年度比 222 件増), 対人暴力が 14 件 (前年度比 9 件増), 器物損壊が 140 件 (前年度比 77 件増) である。

4 高等学校中途退学の状況

<中途退学者数>

(単位: 人)

校種	年度	鹿児島県 (公立)					全国 (公立)		
		R 3	R 4	R 5	R 6	前年比較	R 5	R 6	前年比較
高等学校		160 (5.5)	233 (8.1)	227 (8.0)	170 (5.9)	-57	24,349 (12.4)	23,468 (12.0)	-881

※ () は 1,000 人当たりの中途退学者数 (中途退学者数 ÷ 在籍生徒数 × 1,000)

- 1,000 人当たりの中途退学者数は 5.9 人 (前年度比 2.1 人減) であり, 全国では 12.0 人 (前年度比 0.4 人減) である。
- 退学の主な理由は「学校生活・学業不適応」が最も多く 44.7%, 次に「進路変更」 38.2%, 「病気・けが・死亡」 7.1% となっている。

5 自殺の状況

<自殺した児童生徒数>

(単位: 人)

校種	年度	鹿児島県 (公立)					全国 (公立)		
		R 3	R 4	R 5	R 6	前年比較	R 5	R 6	前年比較
小・中・高・特		3	10	2	3	+ 1	283	296	+ 13